

2018 全日本 F3 第 3 戦 第 4 戦  
 スポーツランド SUGO  
 2018 年 5 月 26 日(土)

予選 観客: 7,700 人 天候: 晴れ

2018 年 全日本 F3 選手権シリーズは、宮城県のスポーツランド SUGO で今年二回目のイベント、第 3 戦、第 4 戦を迎えた。カーナンバー36 の坪井 翔が両レースのポールポジションを獲得して第 2 戦から 3 戦連続のポールシッターとなった。カーナンバー37 の宮田莉朋は、第 3 戦をセカンドポジションから、第 4 戦を 3 番手グリッドからスタートすることとなった。



- 今回の予選方式は、30 分間内に記録したベストタイムで第 3 戦、セカンドベストタイムで第 4 戦のグリッドを決した。
- 1 セット目のタイヤでコースインした際に坪井は、強いアンダーステアに苦しんで、思うようにタイムアップできなかった。
- 宮田は、1 セット目のタイヤのウォームアップを終えてアタック。その時点でベストタイムを叩き出し、ポールポジション獲得へ期待が高まった。
- 坪井は、2 セット目のタイヤでのアタックを前に、風の方向や強さを考慮してセットアップを変更。一気にタイムアップを果たしてトップタイムを叩き出した。セカンドベストタイムは、1 セット目のタイヤによってマークされたものだった。
- 一方の宮田は、2 セット目でも好調さを維持していたものの、ウォームアップ後に攻めすぎてしまいアタックを失敗。結局、1 セット目で記録したタイムによって両レースのスターティンググリッドを決することとなった。

| Driver | Car No. | Qualify for 3 | Qualify for 4 |
|--------|---------|---------------|---------------|
| 坪井 翔   | 36      | P1 1:13.058   | P1 1:13.435   |
| 宮田 莉朋  | 37      | P2 1:13.418   | P3 1:13.669   |

  

|         |            |            |
|---------|------------|------------|
| 天候      | 晴れ/ドライ     |            |
| 気温/路面温度 | 気温 20-20度C | 路面 40-40度C |

坪井 翔 (36 号車ドライバー)



「菅生に入ってから好調で、常にトップタイムをマークしていましたが、1 セット目のタイヤで、強いアンダーステアになってしまって、思うようにタイムが出せませんでした。チームが 2 セット目のアタックに向けてセットアップを変更してくれたおかげで 2 セット目では、タイムを出すことができました。何とか連続してポールポジションを獲得できました。決勝ではファステストタイムもマークして、パーフェクトウインを飾りたいです」

宮田 莉朋 (37 号車ドライバー)



「予選までは、坪井選手に常に先行されていたのですが、菅生における課題を少し克服できたのか、1 セット目のタイヤで好感触を得ることができました。ポールポジションを狙って 2 セット目のタイヤでコースインして行きました。1 分 12 秒台は見えただかなと思ったのですが、ウォームアップを終えてアタックした際に少し気負ってしまってヘアピン先のシケインでオーバーラン。ミスしてしまいました。そして、第 4 戦はフロントローのポジションも失ってしまいました。気を取り直して、決勝のスタートに集中します」

吉武 聡 (エンジニア)



「1 セット目のタイヤで坪井にアンダーステアが強いという現象が出ました。それは、コースコンディションによるものなのか、前日までと違う風向きによるものなのかわかりませんが、フロントウイングの角度を増すという対処を施して 2 セット目に準備しました。宮田もアンダーはあったのですが、それほど強くなかったみたいです。坪井は、上手くタイムアップしてくれてダブルポールポジションを獲得。宮田はミスしてしまい残念です」

関谷 正徳 (チーム監督)



「坪井は、苦しい状況でも対処してタイムを出すという強さを発揮してくれましたね。これが F3 三年目という経験の成せる技かなと思います。宮田も二年目の成長を示してくれたのですが、最後の詰めが甘かった。しかし、確実に坪井に肉薄するまでの力をつけているので期待しています」

2018 全日本 F3 第 3 戦 第 4 戦  
 スポーツランド SUGO  
 2018 年 5 月 26-27 日(土/日)

**決勝**

観客:16,500 人 天候: 晴れ

全日本 F3 選手権シリーズ第 3 戦、第 4 戦は、スポーツランド SUGO で開催され、カーナンバー36 坪井 翔は、今シーズン 4 連勝を飾った。カーナンバー37 宮田 莉朋は、4 連続の 2 位フィニッシュを果たして、TOM'S チームとしては、ここまで全て 1-2 フィニッシュを達成している。



- 今シーズン、安定してスタートを決めている坪井は、両レースとも全く危なげないスタートを切りトップのポジションを守って周回を重ねた。
- 両レース共に坪井は、2 位を走行する宮田に対して、徐々にギャップを広げていたが、中盤アクシデントで黄旗が提示されたり、バックマーカーが現れてラップタイムを落とさざるを得なくなったりと、差が縮む場面もあったが、再び引き離してダブルポール to ウィンを達成。
- 第 3 戦をフロントローからスタートした宮田は、スタートから順位を挽回したかったが、坪井に食らいつづきのが精一杯だった。しかし、第 4 戦では、最高のスタートを決めて、3 番手から 2 位に順位をアップした。
- 追い越しが難しい菅生において、宮田は坪井との差を詰めつつ、ポイントが獲得できるファステストラップを狙い、25 周レースの 24 周目に見事ファステストラップをマーク。坪井のパーフェクトウィンを阻止した。

| Driver | Car No. | Round3/Fastest Lap | Round4/Fastest Lap |
|--------|---------|--------------------|--------------------|
| 坪井 翔   | 36      | P1 1:13.841        | P1 1:14.152        |
| 宮田 莉朋  | 37      | P2 1:13.983        | P2 1:14.089        |

  

|         |                  |                  |
|---------|------------------|------------------|
| 天候      | 晴れ/ドライ 晴れ/ドライ    |                  |
| 気温/路面温度 | 気温 21-20/21-22度C | 路面 41-40/40-42度C |



**坪井 翔 (36 号車ドライバー)**

「昨シーズンは、前半戦でミスをする事が多かったのですが、今シーズンは、ここまで何とかミスなく連勝が続けられています。特にスタートには、自信があります。今回も 2 レースともポール、ファステスト、優勝とパーフェクトにまとめたかったのですが、宮田選手に第 4 戦の最後の最後でファステストラップタイムを奪われてしまったので、それが悔しいですね。これからもパーフェクトなレースが続けられるように頑張ります」

**宮田 莉朋 (37 号車ドライバー)**

「菅生は、スタートで前に出ないと勝てないので狙っていたのですが、トップには立てませんでした。しかし、第 4 戦のスタートは、自身、最高のスタートを切ることができて、ひとつの課題をクリアできたかなと思います。そして、トップに立てないのならファステストラップを獲得しようと目標を変えて、終盤に燃料が減って、マシンが軽くなった時を狙ってプッシュして、それを獲得することができました」

**吉武 聡 (エンジニア)**

「坪井は、とても安定感が出てきて、特にミスもなく両レースを優勝しました。昨年と比較するとスタートが全く危なげない状況ですね。宮田は、第 3 戦は、普通のスタートでしたが、第 4 戦のスタートは素晴らしかったですね。そして、終盤のファステストラップ獲得は見事でした。長い 25 周レースの 24 周目にアジャストし、ベストタイムを出したのは素晴らしかったと思います。これからも連勝、1-2 フィニッシュ、ファステストラップを獲得できるように頑張ります」

**関谷 正徳 (チーム監督)**

「チームとしては、開幕戦から 4 連続の 1-2 達成に満足しています。そして内容として、坪井がいろいろな経験を積んで安定感が増していること、そして宮田も 2 年目で坪井に迫る速さを着実に示している点は嬉しいです。若きドライバー達がこのようにして切磋琢磨してくれて、成長している様を見るのは、本当に楽しいです。これからも勝利を目指して戦い続けます」

※次戦は、7 月 7-8 日に、静岡県の富士スピードウェイにて、シリーズ第 5 戦、第 6 戦が開催されます。